

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年10月18日発行

— 2018.10.8～2018.10.14 — 第41週 —

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第38週	第39週	第40週	第41週
水痘	5 1.00	1 0.10	3 0.60		1 0.33	8 1.60	1 0.50	5 0.19	24 0.41	914				
流行性耳下腺炎			1 0.20		1 0.33			2 0.07	4 0.07	189				
感染性胃腸炎	30 6.00	8 0.80	14 2.80	15 7.50	6 2.00	11 2.20		81 3.00	165 2.80	10,754	◎	◎	◎	◎
手足口病	13 2.60	1 0.10	16 3.20	5 2.50	12 4.00	1 0.20	1 0.50	24 0.89	73 1.24	1,895	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	2 0.40	11 1.10	1 0.20				4 2.00	87 3.22	105 1.78	1,074	◎	◎	◎	◎
突発性発しん	2 0.40	1 0.10	8 1.60	4 2.00	3 1.00	2 0.40		15 0.56	35 0.59	1200	○	○	レ	○
ヘルパンギーナ	6 1.20	9 0.90	5 1.00	2 1.00	2 0.67	3 0.60	2 1.00	23 0.85	52 0.88	3,211	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	5 0.63	1 0.07				1 0.13		22 0.50	29 0.31	34,075				○
咽頭結膜熱	1 0.20	2 0.20	1 0.20			5 1.00		5 0.19	14 0.24	894				
流行性角結膜炎		1 0.33	1 1.00			1 1.00			3 0.25	140				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25 5.00	11 1.10	3 0.60	3 1.50	1 0.33	24 4.80		24 0.89	91 1.54	6,340	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	5				
無菌性髄膜炎								2 0.40	2 0.17	3				
マイコプラズマ肺炎	1 1.00			2 2.00		1 1.00	1 1.00	1 0.20	6 0.50	136				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	9 1.80	5 0.50	2 0.40	1 0.50	1 0.33	2 0.40		22 0.81	42 0.71	2,130	◎	◎	◎	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	31				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1					2	8		◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病	1												
	不明発しん症								10					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男児1名※、女性1名  
結核(無症状病原体保有者)  
登米管内 女性1名(第40週)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

大崎管内 男性1名  
腸管出血性大腸菌感染症(O26)  
大崎管内 男性1名(第37週)、女性1名(第37週)  
女性2名(第38週)

4類感染症: レジオネラ症

石巻管内 女性1名  
仙台管内 男性2名

5類感染症: ウイルス性肝炎(B型)

仙台管内 男性1名  
侵袭性肺炎球菌感染症  
石巻管内 男性1名  
梅毒  
塩釜管内 男性1名  
仙台管内 女性1名(第39週)  
百日咳  
仙台管内 男児1名※(第40週)、男性1名、女性1名  
風しん  
仙台管内 男性1名

※男児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[ 手足口病 ]

仙南管内で警報レベルを継続中です。  
栗原管内で警報レベルを継続中です。  
大崎管内で警報レベルを継続中です。

[ 伝染性紅斑 ]

気仙沼管内で警報レベルを継続中です。  
仙台管内で警報レベルを継続中です。

[ 水痘 ]

仙南管内で注意報レベルを超えました。  
石巻管内で注意報レベルを超えました。

### 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～  
報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中間報告			
	確定	第38週採取分	第39週採取分	第40週採取分
		(9.17～9.23)	(9.24～9.30)	10.1～10.7
RSウイルス	2件	1件	4件	
エンテロウイルス	0件	0件	3件	
サイトメガロウイルス	0件	0件	1件	
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件	
パラインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件	

## 4. 今週のコメント

### 【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、O157、O26などの血清型が代表的です。主な症状は腹痛・下痢ですが、重症化すると溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こして死亡する例もあります。県内では今週5例の患者報告があり、引き続き患者の多い状況が続いています。今週末までの累積報告数を直近5年間と比較すると最も多い数となっています。腸管出血性大腸菌は少量の菌数(10～100個)でも感染が成立し、特に、低年齢の小児は感染とその後のHUS発症のリスクが高いため注意が必要です。食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

